

# 第26回 京都フランス音楽アカデミー アンサンブル・スペシャル・コンサート2016

日仏音楽交流事業「京都フランス音楽アカデミー」のために来日した教授陣によるスペシャル・コンサート。  
ソリストとしても世界中で活躍する教授陣によるアンサンブルは、フランス本国でもなかなか聴くことのできない贅沢な編成です。

## ジャン＝フィリップ・クルティス Jean-Philippe Courtis

バリトン

パリ・エコール・ノルマル音楽院にて指揮を学ぶ。アミアン地方音楽院にて声楽で1等賞、オーボエでパリ市賞1位を、パリ国立高等音楽院では声楽とオペラでそれぞれ1等賞を獲得し、エクサン・プロヴァンス音楽祭にて初演を飾る。以来世界各国で、「ベレアスとメリザンド」など多数の歌劇に出演。ジュネーヴ大劇場ではロルフ・リーパーマンの初演作品「森林」のルッジェーロ・ライモンディの代役を務め、大成功を収める。ジャン・イヴ・ダニエル＝ルシュールや、フィリップ・マヌリ等の初演にも数多く出演。現在パリ・エコール・ノルマル音楽院、アミアン地方音楽院教授。

## ジャン＝マルク・ルイサダ Jean-Marc Luisada

ピアノ

85年のショパン国際ピアノコンクール入賞以来、国際的に活躍するピアニスト。シャルル・デュトワ、マレク・ヤノフスキらの指揮者や、ロンドン交響楽団など各国のオーケストラと共演する他、各地の主要ホールで演奏活動を行う。ドゥニーズ・リヴィエールに師事した後、パリ国立高等音楽院でピアノをドミニク・メルレに、室内楽をジュゼッペ・ジョワ＝デュティユーに師事。現在、パリ・エコール・ノルマル音楽院教授。作曲家ではショパンを特に好み、その録音は常に確固たる評価を得ている。

## ジョルジュ・ブルーデルマッハー Georges Pludermacher

ピアノ

3歳でピアノを始め、11歳で入学したパリ国立高等音楽院ではリュセッテ・デカヴーらに師事。ヴィアンナ・ダ・モッタ国際ピアノコンクールとリーズ国際ピアノコンクールで第2位、79年ゲザ・アランダ国際コンクール優勝。ソリストとしてゲオルク・ショルティら多くの指揮者と共演する一方、室内楽への愛着も深める。98年、4番目のペダル「ハーモニック・ペダル」を備えたピアノでベートーヴェンのピアノソナタ全曲をライブ録音。最新録音は、自身の編曲によるピアノ・ソロ版のストラヴィンスキー「春の祭典」。

## ピエール・レアク Pierre Réach

ピアノ

世界各地での演奏活動、マスタークラスを行う他、ピアノ・ピックフェスティバルの設立など幅広く活躍。オリヴィエ・メシアンコンクール第1位、エトレ・ポツォーリ国際ピアノ・コンクール第1位など、数々のコンクールに入賞。NHK交響楽団など世界的なオーケストラや、室内楽への情熱によりゲイリー・ホフマン等と共演。バッハ「ゴールドベルク変奏曲」は、世界的評価を受け、多数のCDを録音。多くの国際コンクールで審査委員も務め、現在パリ地方音楽院およびカタルーニャ高等音楽院教授、上海音楽学院名誉教授。2015年1月、フランス芸術文化勲章シュバリエ受賞。

## オリヴィエ・シャルリエ Olivier Chartier

ヴァイオリン

10歳でパリ国立高等音楽院に入学し、ナディア・ブーランジェ、ユーディ・メニューイン、ヘンリック・シェリングに師事。ミュンヘン国際音楽コンクール、モントリオール国際コンクール、シベリウス国際ヴァイオリン・コンクール、ロン＝ティボー国際コンクールなどで受賞を重ね、国際的なキャリアを築く。幅広いレパートリーを誇り、積極的にレコーディング活動を行う他、室内楽にも熱心で、ブラード・カザルス音楽祭など各地の音楽祭に定期的に参加。現在、パリ国立高等音楽院教授。

## シルヴィー・ガゾー Sylvie Gazeau

ヴァイオリン

ニース地方音楽院で学んだ後、パリ国立高等音楽院で65年にヴァイオリンで、67年に室内楽でそれぞれ1等賞を受賞。同年のマリア・カナルス・バルセロナ国際音楽演奏コンクールと翌68年のカール・フレッシュ国際ヴァイオリン・コンクールで第2位。70年、インディアナ大学でヘンリック・シェリングとジョーゼフ・ギンゴールドに師事。アンサンブル・アルテルコンタンボランへの参加など演奏活動多数。85年より、パリ国立高等音楽院ヴァイオリン科教授。ヴァトロ・ランバル・ヴァイオリンコンクールでは芸術監督を務める。

## レジス・パスキエ Régis Pasquier

ヴァイオリン

12歳でパリ国立高等音楽院のヴァイオリンと室内楽部門で1位を獲得。14歳で渡米し、アイザック・スターン、ダヴィット・オイストラフ、ピエール・フルニエ、ナディア・ブーランジェに出会う。ジノ・フランチェスカッティとは、バッハの「2つのヴァイオリンのための協奏曲」を録音。85年から11年までパリ国立高等音楽院教授。バガニョーニのカプリース全曲をコンサートで演奏する数少ないヴァイオリニストの一人。使用楽器は1734年製グアルネリ・デル・ジュスの「クレモナ」。

## ブルーノ・パスキエ Bruno Pasquier

ヴァイオリン

43年生まれ。61年にパリ国立高等音楽院で1等賞を獲得。65年ミュンヘンのARD国際音楽コンクール弦楽四重奏部門で優勝。65年～85年、パリ・オペラ座管弦楽団首席ヴァイオリン奏者、85年～90年、フランス国立管弦楽団首席ヴァイオリン奏者。レコード録音では、76年にディスク大賞、77年にフランス・ディスク・アカデミー大賞など多数の賞を受賞。数々の国際アカデミーでも教えており、72年よりパリ国立高等音楽院にて教鞭をとる。レジオン・ドヌール勲章シュヴァリエ章、芸術文化勲章オフィシエ章受賞。現在パリ・エコール・ノルマル音楽院教授。

## ロラン・ピドゥー Roland Pidoux

チェロ

パリ国立高等音楽院卒業、ジャン・ユボートと、ジョセフ・カルベに師事。ソリストとしての活動と同時に、室内楽にも精力的に取り組む。68年、ジャン＝ピエール・ヴァレーズと、パリ室内管弦楽団の前身「フランス器楽アンサンブル」を設立。ヴァイ・ノヴァ四重奏団にメンバーとして参加した後、弦楽三重奏団パスキエ・トリオを結成。室内楽では、アイザック・スターン等と共演。69年、パリ国立歌劇管弦楽団、78年～87年、フランス国立管弦楽団首席奏者。ジャン＝クロード・ベヌティエとの共演「ペーターヴェン：チェロ・ソナタ全集」等、多数録音。

## ジャン・フェランディス Jean Ferrandis

フルート

モーツァルトのフルート協奏曲K314を演奏した際、バーンスタインに「彼はまさにパン(牧神)である!」と言わしめるほど称賛を得たフルーティスト。リヨン国立音楽院のマクサンズ・ラリューのクラスで満場一致の1等賞を得て卒業後、プラハの春国際音楽コンクールでのグランプリなど、国際コンクールでの入賞多数。各国でのリサイタルやレコーディング多数。指揮者としての活動や教育活動にも熱心で、現在、パリ・エコール・ノルマル音楽院とカリフォルニア州立大学フラトン校にて教鞭をとる。

## フローラン・エオー Florent Héau

クラリネット

優れたフランス流派クラリネット奏者の1人として、輝かしい伝統を世界中に伝えるべく演奏活動を行っている。パリ国立高等音楽院でミシェル・アリニョンのもとで学び、数々の国際的なコンクールで第1位を獲得。室内楽には特に精力的に取り組むほか、ソリストとしては、ヨーロッパ・カメラータ、パリ室内管弦楽団等と共演。ディエリ・エスケシュら現代音楽の作品も初演している。パリ国立高等音楽院でミシェル・アリニョンのアシスタントを務めた後、現在はパリ地方音楽院教授として後進の指導を行う。

## イヴ・シヨリス Yves Chauris

作曲

パリ国立高等音楽院卒業。ピアノとアンサンブルのための協奏曲《...solitude, récif, étoile...》は、2003年にジャン＝フレデリック・ヌーヴルジェにより初演。以後フランソワ＝グザヴィエ・ロス指揮でBBCウェルズ国立管弦楽団により再演された。2010年初めて弦楽四重奏《I hear bodies》をディオティマ弦楽四重奏団に、2012年《Shakkei》をタナ弦楽四重奏団に創作。2014年、アンサンブル・アンテルコンタンボランにより《Un minimum de monde visible》初演。現在、フランス政府委託のアンサンブル・シヤージュ公演作品やニューヨークのカーネギー・ホールからの委嘱作品に取り組んでいる。

## ヤニック・パジエ Yannick Paget

作曲

ロンドン王立音楽院、パリ国立高等音楽院にて指揮、パーカッションを学ぶ。マレク・ヤノフスキなど、著名な指揮者に師事。また、パリ・ラムルー管弦楽団の副指揮者として佐渡裕のアシスタントを務め、兵庫芸術文化センター管弦楽団の指揮者に招かれる。ヨーロッパやアジアで数多く客演し、現在は大阪教育大学オーケストラの首席指揮者、関西シティアフィルハーモニー交響楽団の首席客演指揮者、2008年より大阪教育大学にて指揮の教師を務める。作曲家としても多数の国際的コンクールの本選に出場。映画、舞台、オペラやオーケストラの楽曲も作曲している。

## 第26回 京都フランス音楽アカデミー 公開レッスン

2016年3月26日(土)、27日(日)

京都フランス音楽アカデミーで開講するクラスは、全クラス非公開のため、各教授1回90分の公開レッスンを開催。

【科目】ピアノ、ヴァイオリン、ヴァイオリン、チェロ、フルート、クラリネット、声楽

【会場】アンスティチュ・フランセ関西 稲畑ホール

【料金】聴講料: ¥2,000(1科目1教授につき)、¥7,000(1日通し券)

※2016年1月発売予定 ※受講生は入場無料

お問い合わせ: 京都フランス音楽アカデミー実行委員会事務局 075-761-2114

academie@institutfrancais.jp academie.institutfrancais.jp